

火災予防
暮らしに潜む危険をチェック

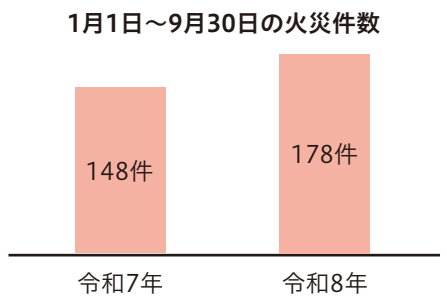


火災は、普段の何気ない行動や身近な製品が原因で発生することがあります。自分や大切な人の命を守るため、改めて気を付けたいポイントを確認しましょう。

問 予防査察課（☎238-6005　FAX228-8161）

グラフで見る火災件数

堺市消防局管内では令和8年の火災件数が前年を大きく上回っており、9月末時点で9人の方が火災により亡くなっています。



前年比30件（約20%）増加



消防局公式キャラクター
タッシー

火災は決して人ごとではありません！

火災を防ぐために　今できること

身近な火災を防ぐポイント

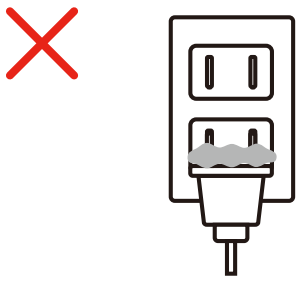
家庭内で発生した火災の主な原因から、日ごろ気を付けたい行動を紹介します。

①たばこの不始末



寝たばこはしない・させない！

②コンセントのほこり



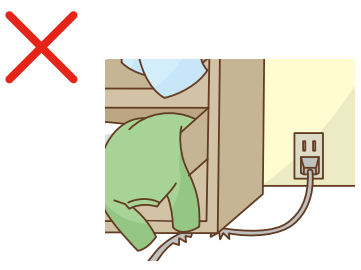
コンセント周りを清掃し、プラグをしっかり挿す！

③調理中のコンロ



調理中はコンロから注意をそらさず、離れない！

④傷んだ電気コード



家具などで電気コードを踏みつけない！

リチウムイオン電池を安全に使うために

スマホやモバイルバッテリー、コードレス掃除機など、身近な製品に使われているリチウムイオン電池。火災を防ぐため、購入から使用、廃棄まで正しく取り扱いましょう。

詳しくは↓

①買う時



製品情報や表示を確認し、安全基準を満たした商品を選ぶ

②使う時



衝撃や高温を避け、異変を感じたら、すぐに使用を中止する

③捨てる時



ごみ収集車や処理施設での火災につながるため、市のルールを確認して正しく捨てる

ポイント
生活ごみなどに混ぜない

市のルールは↓

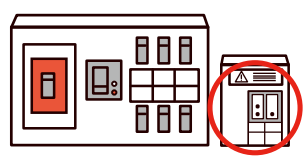
通電火災に備えて感震ブレーカーを設置

過去の大地震では、停電復旧時の通電による火災が多く発生しています。感震ブレーカーにはさまざまな種類があるため、家庭の生活様式に応じた製品を設置して、地震による通電火災を防ぎましょう。

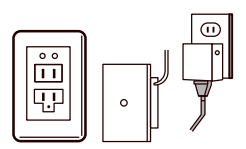
詳しくは↓



分電盤タイプ（内蔵型）



分電盤タイプ（後付型）



コンセントタイプ

11月9～15日　秋の火災予防運動

火災を減らすため、街頭やホームページなどで火災予防の啓発活動を行います。今一度、身の回りの火の元を確認し、火災予防を心掛けましょう。

詳しくは↓

令和8年度全国統一防火標語
火の確認　いい日を支える　いい習慣